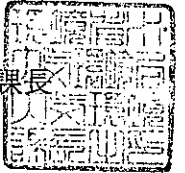


環水大大発第 110405001 号  
平成 23 年 4 月 5 日

各 都道府県 } 大気環境担当部(局)長 殿  
政令市 }

環境省水・大気環境局大気環境課長



東日本大震災の被災地におけるアスベストに関する正しい知識の普及啓発と  
使い捨て式マスクの無償配布について

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により広範囲にわたる地域で甚大な被害が発生し、多くの建築物等が損壊するとともに、膨大な量の災害廃棄物が発生したところであり、今後の災害復旧工事における建築物などの解体、改修工事・ガレキの処理に伴い、アスベストを含む粉じんのばく露が懸念されます。

環境省においては、被災した住民等へのアスベストを含む粉じんのばく露防止と被災した住民等が有する不安への対応の一つとして、平成 23 年 3 月 28 日付け環水大大発第 110328001 号「東北地方太平洋沖地震の被災地におけるアスベスト大気濃度調査について」により、アスベスト大気濃度調査を行う予定であることをお知らせするとともに、被災した地方自治体以外の地方公共団体に対してご協力をお願いしたところです。

今後、被災した住民等へのアスベストを含む粉じんのばく露防止と被災した住民等が有する不安への対応のより一層の徹底を図るため、下記のご対応をお願いします。

記

1. アスベスト対策に関する正しい知識の普及啓発の促進について

被災した住民等が有する不安に適切に対応するためには、第一に正しい情報を提供することが必要です。環境省としては、環境省ホームページのトップの「東日本大震災への対応について (<http://www.env.go.jp/jishin/index.html>)」のページ内に、アスベスト対策に関する情報提供を行っていますので、被災された地方自治体におかれましては、被災した住民等に紹介するなど、積極的に活用して下さい。

なお、被災した住民等は必ずしもインターネットにアクセスできるとは限らないことから、適宜その内容を印刷して配布・掲示するなど、被災した住民等に対する特段の配慮に努めて下さい。

2. 被災した住民等へのマスクの配布について

(社)日本保安用品協会を通じ、(1)のとおり複数の会社からマスクの無償提供の申出がありました。環境省としては、被災者等が有する不安への対応、マスクを使用す

ることによる粉じんへのばく露防止とその意識啓発を図ることを目的に、被災した地方公共団体あてにマスクを送付することを予定しています。被災した地方公共団体におかれましては、各地方公共団体に設置されている災害対策本部等との連携を図りながら、被災した住民等へ配布して下さい。

なお、今回配布するマスクは、各会社からの提供品毎にその性能が異なるため、使用するにはご注意ください。配布するマスクの正しい着用について解説したチラシ（別添）をホームページ上で掲載する予定であるため、必要に応じて印刷して配布・掲示して下さい。

また、配布数の内訳は（２）のとおりであり、避難所において生活を送っている被災者数等を勘案して配布することとしており、厚生労働省の３月２８日付け報道発表による配布内訳とは必ずしも一致していないことを申し添えます。

（１）使い捨て式マスクの提供企業名（五十音順）

- ・スリーエムヘルスケア株式会社

9010-N95（NIOSH N95 認定品）10,000 枚

（参考 URL: <http://www.mmm.co.jp/ohesd/info01/risk04.html>）

- ・ミドリ安全株式会社

使い切りマスク プリーツ 20,000 枚

（参考 URL: <http://www.midori-sh.jp/>）

- ・山本光学株式会社

女性・子供用マスク（NIOSH N95 認定品）2,400 枚

（参考 URL: <http://www.yamamoto-kogaku.co.jp/safety/respirators/mask.html>）

（２）使い捨て式マスクの配布予定内訳\*（県別）

	配布数 （スリーエムヘル スケア株式会社）	配布数 （ミドリ安全株 式会社）	配布数 （山本光学株 式会社）
岩手県	2,800	5,600	650
宮城県	4,500	9,000	1,000
福島県	2,000	4,000	500
茨城県	300	600	100
栃木県	100	200	50
千葉県	300	600	100
合計	10,000	20,000	2,400

\*梱包の関係上、若干配布数が増減する可能性があります。

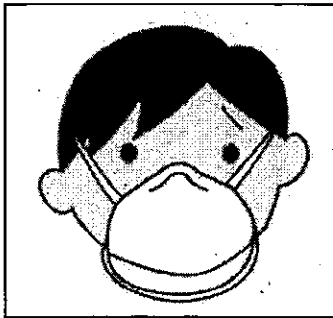
（３）配布の時期（予定）

被災した地方公共団体での被災や復旧等の状況を踏まえ４月中旬以降に配布を開始する予定です。

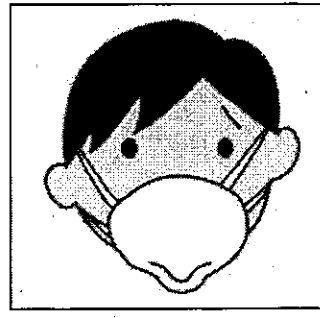
粉じんのばく露を防ぐために

# 正しくマスクを装着しましょう

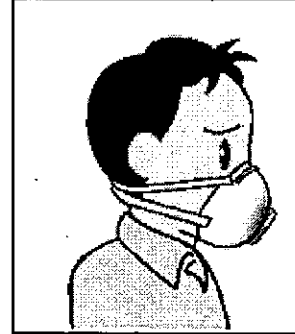
マスクの装着「悪い例」(使い捨てマスクについて)



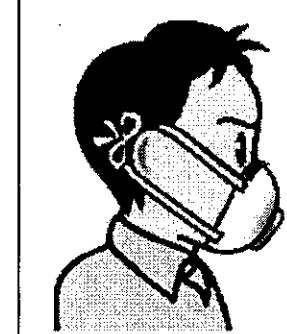
しめひもが片側はずれ  
ている



マスクが上下逆さま



しめひもが首元で2本  
がけになっている



しめひもを加工して耳  
かけ式にしている

しっかりと顔に密着させましょう

- マスクの変形・破損が無いことを確認した上で取扱い説明書に従って装着を行う。
- しめひも調節が行えるものは、必ず適切な長さに調節する

※注意事項

- ・酸素濃度18%未満の作業環境では絶対に使用しないで下さい。
- ・使用中にマスクが損傷したり、呼吸が苦しくなったり等の場合には速やかに安全な場所に移動して下さい

顔に密着しているか確認しましょう

- 取扱説明書に従って使用のたびに必ず顔に密着しているか確認しましょう。
- もし、漏れ込みが感じられた場合は  
①マスクの位置を調節する  
②しめひもの長さを調節する 等  
を行って再度確認してください

資料出典：(社)日本保安用品協会  
日本呼吸用保護具工業会  
スリーエムヘルスケア(株)